

オンリーワン

バリアフリー
ペーパー

夏号

平成 26年7月22日発行

この機関紙は、西条市障害者相談支援センターがパソコン就労をめざす障がい当事者グループ「オンリーワン」に編集を委託し、協同で作成したものです。

この度、オンリーワンの活動を手伝わせていただくことになりました社会福祉協議会職員の藤井といいます。社会人1年目で勉強の毎日ですが、オンリーワンメンバーのみなさんと楽しく機関紙を作っていけたらいいなあと考えています。自分は生まれつき障がいがあり、車いすに乗っていますので、当事者の視点から気づくことや経験を活かしていきたいです。これからよろしくお願いします。(社協 藤井)

人材マッチング・合同就職面接会を取材してきました！

今回は7月4日(金)に行われた人材マッチング・合同面接会を取材させていただきました。西条市が主催し、中央公民館で行われました。当日はシャトルバスも運行され、開場直後から多くの方が来られていました。入口を入ると参加企業の詳しい求人情報が正面のボードに張り出されており、参加者の方たちは、みな真剣に求人票を見ていました。その中から興味のある企業を決めて受付を行い、説明や個別面接を受けるという流れになっていました。合同面接会に参加された企業は12社で、障がい者の方の参加は39名だったそうです。

その他にも障がい者就職相談や障がい者就労支援事業所 PR コーナーがあり、会場は人と企業の出会いの場となっていました。

今後も、私たちの住み慣れた西条市でこのような就職面接会等が行われ、「働きたい！」と希望する人たちが一人でも多く就職できることを願っています。(社協 藤井)



《求人票を見ている参加者》



《個別面接の様子》



就労継続支援A型事業所
サスケ工房
がいきが共に
学び続ける場

当事者の奮闘記 未来への足跡(あしあと)

就労継続支援A型事業所サスケ工房西条を訪問しました！

今年5月1日にオープンした就労継続支援A型事業所サスケ工房西条取材させていただきました。場所は西条市の紺屋町商店街再開発ビルの2階にあり、遠くからでも確認できる大きな横断幕が目印です。アーケードがあるため雨にぬれることもなく、障がい者用トイレやエレベーターも完備され、車いすの方も安心して利用できます。また、市役所や福祉センター等の公共施設が近く、新しい商店の出店でにぎわいを見せている地域でもあり、とても環境のいい場所であるという印象をうけました。

サスケ工房の主な仕事は、コンピューターで設計システム(CAD)を利用し、鉄骨建築の図面を作成することです。鉄骨建築の加工図面作成で国内トップクラスのシェアを誇る白石設計(新居浜市)が、障がいのある方達が働ける場所を作ろうと、新居浜事業所に次ぎ、西条事業所がオープンしました。20才から60才の約20名の方が雇用契約を結んで働いています。働き方も柔軟で、通勤が難しい人は在宅で仕事することも可能です。10時~15時まで(月~金)の週20時間働くことが基本だそうです。



←取材の様子



↑仕事をされている様子

サスケ工房を訪問したのはまだオープン間もない頃で、CADを使ってマンションの間取り図の書き方を練習したり、CAD検定に向けて勉強をするなど、技術を獲得するために黙々と勉強されている様子を見せてもらうことができました。

利用者のAさんは「サスケ工房で働けるようになり、給料をもらうことができ、仕事をしている実感ややりがいを感じています。」と話され、利用者のBさんも「パソコンを触っているととても楽しく、これからもずっと続けたい」と笑顔で答えてくれました。初心者の方でも、パソコンに興味がある人や意欲がある人なら丁寧に指導してくれるので大丈夫だそうです。また、CAD以外にも、ホームページをチェックする仕事などもあるそうです。

最後に白石光廣社長からお話を聞きました。「皆さん意識が高く能力もある。潜在能力に気づいていない方もいるので得意分野を伸ばしてもらいたい。そして今後はもっと障がい者が働ける場所を作っていきたい」と話してくださいました。

CADは専門的で難しいイメージがありました。しかし、1人で完成することは難しくても、みんなで分担し仕事を完成させるという仕組みを作ることで、多くの障がいのある方達が生き生きとやりがいを持って働くことができていました。本当に素晴らしい取り組みであると感じました。挑戦するみなさんの意識の高さに驚くと同時に、自分ももっと頑張ろうと思いました。商店街の拠点となるあの場所に、今後も様々な人が集まり、中心街のにぎわいを共に創っていく存在になられることを期待しています。

(柳瀬)

今回オンリーワンの取材に初めて同行させてもらいました。車いすに乗っている自分達にとっては、職場のトイレや段差、通路等の状況によって働くことができないという問題がまだまだ多く存在しています。その点サスケ工房西条さんは、段差もなく、エレベーターや障がい者用トイレもあるし、中はとても広く車いすの方でもらくらく通れるようになっていました。通勤が難しく在宅で仕事をしている方もいらっしゃいます。このような職場環境の事業所が今後も増えてほしいなと感じました。

(社協 藤井)

サスケ工房 お問い合わせ先

サスケ工房西条

西条市大町 1699-3 エスト・ソレイユ紺屋町 2F

TEL : 0897-47-8564

バイクで西へ東へと奔走するカメラマンライダーを紹介!

今年の5月にオンリーワン編集委員の山内信子さんの作品が、松山春祭りの写真撮影会において推薦賞に輝きました。

(全日本写真連盟・朝日新聞社共催)



受賞記念の賞状とともに



「写真タイトル」頑張り頑張り

山内さんは、写真を撮始めて18年になります。色素性繊維毛繊維滑膜炎という難病で苦勞もしましたが、写真の仲間や家族に支えられながらこれまで続けることができたそうです。オンリーワンでは、取材時の写真撮影や、のぶちゃんのベストショットのコーナーを担当してくれていますが、過去に四国朝日写真展において、県知事賞の受賞経験もある実力の持ち主です。毎日バイクで奔走し、落ち込む暇など無いスーパー信子おばあちゃんです! (梅野)





【イラスト しんすけ】

【障害者相談支援センターからお知らせ】相談員の武市さんが退職します。

私ごとですが、今年の秋に子どもが生まれることとなり、これを機に3年間勤めました支援センターを退職することといたしました。皆様のお陰で楽しく充実した日々を送ることができ、今は出産・育児にそなえ先輩方から心得を学ぶ日々です。

皆様の活躍をお祈りしております、本当にありがとうございました。(武市)

 つぶやきの窓  by HIRO 

先日、炒飯を久しぶりに食べました。家でも本格的な炒飯を作れたら…と思い、上手に作る方法を調べてみました。炒飯が美味しく感じられるのは、ご飯がパラパラになっていることだそうです。パラパラにするための方法をいくつか紹介します。まず、鉄製の中華鍋を空焼きしてから油をなじませ、強火で炒めることが大切です。材料に冷たいものがあるとそれを投入した際に鍋の温度が下がってしまうので、卵は常温にし、冷やご飯は電子レンジで温めておきます。そして、パラパラになった炒飯がしっとりしないよう、醤油はご飯に直接かけず、鍋肌から加えます。他にもパラパラにするための方法がたくさんありました。挑戦してみたいです！



←パソコンで描いたイラスト
美奈子さん作

投稿コーナー「たしっぽ」

つか ま ひかりいんど ひ はな
束の間を 光彩る 火の花は
うるわ はる と き に
美し青春の 時期に似しかも
美奈子 詠

編集後記

オンリーワンの皆様に温かく迎えられてからもう2年半。初めは何も分からなくて、先輩方から少しずつ作業や取材の仕方を教わってきました。

最近では企画の提案や、取材を担当することもあり、オンリーワン発行に参画しているのだと実感しています。一人でも多くの人にオンリーワンを読んでもらいたいと願っています。

(美奈子)



発行：西条市障害者相談支援センター（西条市社会福祉協議会）

編集：オンリーワン編集委員

〒799-1371 西条市周布 606 番地 1 西条市東予総合福祉センター内

TEL：0898-64-2600 (代) FAX：0898-64-3920 E-mail：soudan-saijo@galaxy.ocn.ne.jp